SAmC Study Group:
Sustainable Archives for Media & Cultures
UCRC, Osaka City University

# SAmC 第10回研究会のお知らせ

日時：２０１０年２月２５日（木）　午後２時００分～５時００分

場所：大阪市立大学文化交流センター　小セミナー室

大阪市北区梅田1-2-2-600　大阪駅前第2ビル6階　（TEL06-6344-5425）
http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/user/ishita/2007/bunko.htm

アクセス：大阪市営地下鉄　四つ橋線「西梅田」7A、谷町線「東梅田」8、
御堂筋線「梅田」南、JR　各線「大阪」中央口　東西線「北新地」東口

報告１　岩谷洋史（国立民族学博物館）

報告タイトル　「自省的なフィールドワーク論：調査における当事者性について」

報告２　松井広志さん（大阪市立大学文学研究科）

報告タイトル

「フィクショナリティの物質化／再構成としてのフィギュア文化とミュージアム」

持続可能な文化アーカイブ研究会（ＳＡｍＣ研）　設立の趣旨

当研究会は「持続可能な文化アーカイブの構築」を第一の目的に掲げ、写真・映画・テレビ・アニメーション・ポスター・ビラ・マンガ・ゲーム・ファッション・ホームビデオなどの消費文化財、ビジュアル文化を中心とした「20世紀型・日常メディアの文化」の収集と研究資料としての分類法の確立を目指すものです。日常メディアの文化は、社会的記憶の装置として、「戦争と映像の世紀＝20世紀」の人類の経験の容れものとして、世界中で注目を集めている重要な資料であり、文化のグローバル化と資料保存の電子化の時代を迎えて、今後ますます研究価値・保存収集の機運が高まっていくものと予想されます。こうした研究上の関心を共有するメディア文化研究者のみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ：石田佐恵子（ishita@lit.osaka-cu.ac.jp)